

開講科目名 / Course	看護科学研究	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 3 学期 / Third	
開講区分 / semester offered	3 学期 / Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美、永松 いずみ、矢野 亜紀子、秋本 慶子、岡田 悠希、水田 恵子、持田 恵理、三苫 美和	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	卒業研究および将来の臨床における看護研究に必要とされる基本的な考え方、知識、技術を修得することを目的とし、研究のプロセスに対応した、研究テーマの設定から文献収集、研究計画書の作成といった過程のすすめ方、研究デザインの決定やデータ解析技法の知識と実践といった内容をオムニバス形式で講義する。	
到達目標	1. 看護研究の意義を説明できる。 2. 看護研究手法の基本について説明できる。 3. 文献の検索とレビューが行える。 4. 卒業研究の準備を行う。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、6.探究心と創造力	
授業計画	01. 看護研究の意義 02. 文献検索と文献研究 03. 調査研究 04. 実験研究 05. 質的研究 06. 統計学・データ解析 07. 論文の書き方、発表の仕方 08. 研究の倫理と安全 卒業研究発表会への参加	
その他の授業の工夫	演習、小レポートなどを組合せ、学びを深める。 卒業研究発表会に出席することで、看護研究の広がりや発表・質疑応答の実際について学習する。	
時間外学修	授業後、各自で復習を行うとともに、学んだ内容を配属される研究室での卒論に備えた準備に反映すること。 事前学修：事前課題やレポートにより講義に関する予習を行う（7h）。 事後学修：事前課題やレポートにより講義に関する復習を行う（15h）。	
評価方法と評価割合	各回の評価（小テストやレポート課題などが課される）80%と卒業研究発表会参加後のレポート20%を合算して100%とする。なお、すべての回に参加することが評価の前提である。理由に依らず、講義や演習に参加できなかった場合は、その回の講師に至急連絡して指示を受けること。	
テキスト	ハンドアウトを配布する。 参考図書等は別途指示する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		